

佐賀県競技力向上推進本部

第 1 1 回本部会議



令和 2 年 7 月 3 日（金）
佐賀県庁 1 1 階 大会議室

報告事項

- (1) 役員及び委員の変更について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2 ～ 3
- (2) 令和2年度佐賀県強化拠点校・強化拠点地域及び強化企業チーム
指定証の交付について・・・・・・・・ P 4 ～ 11
- (3) 令和2年度「スポーツエリートアカデミーSAGA (SEAS)」支援対象選手
及び佐賀国スポ強化指定選手・ネクスト選手認定証の交付について
・・・・・・・・・・・・・・・・ P 12
- (4) 第75回国民体育大会及び
第20回全国障害者スポーツ大会「鹿児島大会」について
・・・・・・・・ P 13 ～ 23

役員及び委員の変更

選出区分	所属機関・団体・役職名	新	旧
産業・経済関係	佐賀県経営者協会 会長	戸上 信一	中富 博隆
学校関係	佐賀県中学校体育連盟 会長	島 一満	下平 博明
学校関係	佐賀県小学校校長会 会長	江口 浩文	富永 英美
県関係	佐賀県健康福祉部 部長	大川内 直人	川久保 三起子
	佐賀県会計管理者	大川内 明子	尊田 重信

佐賀県競技力向上推進本部 役員・委員名簿

本部長：1名 敬称略

No	区分	氏名	所属機関・団体役職名 等
1	県関係	小林 万里子	佐賀県副知事

副本部長：3名 敬称略

No	区分	氏名	所属機関・団体役職名 等
1	県関係	田中 裕之	佐賀県文化・スポーツ交流局 局長
2		落合 裕二	佐賀県教育委員会 教育長
3	体育・スポーツ関係	副島 良彦	(公財) 佐賀県スポーツ協会 副会長

委員：17名 敬称略

No	区分	氏名	所属機関・団体役職名 等
1	県議会関係	中村 圭一	佐賀県議会地域交流・県土整備常任委員会 委員
2	市町関係	秀島 敏行	佐賀県市長会 会長
3		末安 伸之	佐賀県町村会 会長
4	産業・経済関係	陣内 芳博	佐賀県商工会議所連合会 会長
5		峰 英太郎	佐賀県商工会連合会 会長
6		戸上 信一	佐賀県経営者協会 会長
7	学校関係	中島 慎一	佐賀県高等学校体育連盟 会長
8		島 一満	佐賀県中学校体育連盟 会長
9		江口 浩文	佐賀県小学校校長会 会長
10	学識経験者	池上 寿伸	佐賀大学 教授
11	体育・スポーツ関係	森田 久代	ロサンゼルスオリンピック日本選手団 選手
12		大田 芳洋	(公財) 佐賀県スポーツ協会 監事
13		龍 富貴夫	(公財) 佐賀県スポーツ協会競技力向上委員会 委員長
14	障害者スポーツ関係	末次 康裕	(一社) 佐賀県障がい者スポーツ協会 会長
15		土井 志穂	佐賀県障がい者スポーツ指導者協議会 会長
16	県関係	大川内 直人	佐賀県健康福祉部 部長
17		大川内 明子	佐賀県会計管理者

令和2年度佐賀県強化拠点校・強化拠点地域及び 強化企業チーム指定証の交付について

※ 令和2年度の指定証交付式は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止いたしました。今年度、指定した強化拠点校・強化拠点地域・強化企業チームについては、事務局より指定証を配布させていただいております。

- 1 激励のメッセージ 佐賀県知事 山口 祥義
(※ 県 HP トピックス欄に掲載)



メッセージ動画 URL

<https://www.youtube.com/watch?v=5HNMYdNtIUw>

- 2 趣 旨 第78回国民スポーツ大会において、開催県としてふさわしい成績を取るとともに、大会終了後も安定した競技力が維持されることを目指し、強化の拠点となる強化拠点校・拠点地域及び強化企業チームに指定証を交付し、関係者の意識の高揚を図る。
- 3 指定団体 高等学校 [指定校] 32校95運動部 (30競技)
中学校 [指定校] 10校14運動部 (4競技)
拠点地域 27地域 (20競技)
強化企業チーム 7企業チーム (6競技)

令和2年度佐賀県強化拠点校

R2 高等学校〔指定校〕32校95運動部(30競技)

中学校〔指定校〕10校14運動部(4競技)

【 競技別 】

NO	競技	種目	高等学校			中学校		
			指定校			指定校		
			NO	性別	校名	NO	性別	校名
1	水泳	競泳	1	男	佐賀商業			
			2		佐賀学園			
			3	女	佐賀商業			
			4		佐賀学園			
		飛込	5	女	致遠館			
		水球	6	男	佐賀東			
			7	女				
2	ボート	8	男	唐津東				
		9		唐津西				
		10	女	唐津東				
		11		唐津西				
3	セーリング	12	男	唐津西				
		13		唐津工業				
		14	女	唐津西				
4	陸上	15	男	佐賀工業				
		16		鳥栖工業				
		17	女	佐賀北				
		18		佐賀清和				
5	サッカー	19	男	佐賀東				
		20	女	神埼				
6	テニス	21	男	敬徳				
		22	男	早稲田佐賀				
		23	女	鳥栖商業				
		24		佐賀商業				
7	ホッケー	25	男	伊万里商業・伊万里実業				
		26	女					
8	ボクシング	27	男	高志館				
		28		白石				
		29	女	白石				
		30		高志館				
9	バレーボール	31	男	佐賀商業				
		32		佐賀学園				
		33	女	佐賀清和				
		34		鳥栖商業				
10	体操	競技	35	男	鳥栖工業	1	男	鳥栖
		36	女	鳥栖	2	女	鳥栖	
					3		田代	
	新体操	37	男	神埼清明				
		38	女	佐賀女子				
		39		佐賀北				
11	バスケットボール	40	男	佐賀北	4	男	成章	
		41		佐賀東	5	女	昭栄	
		42	女	佐賀北	6		城西	
		43		佐賀清和				
12	レスリング	44	男	鳥栖工業				
		45		鹿島				

NO	競技	種目	高等学校			中学校		
			指定校			指定校		
			NO	性別	校名	NO	性別	校名
13	ウエイトリフティング	46	男	有田工業				
		47	女					
14	ハンドボール	48	男	佐賀清和	7	男	神埼	
		49		神埼清明	8		東原摩舎中央校	
		50	女	神埼清明	9	女	神埼	
		51		佐賀清和	10		東原摩舎中央校	
15	自転車	52	男	龍谷				
16	ソフトテニス	53	男	嬉野				
		54		佐賀工業				
		55	女	佐賀清和				
		56		嬉野				
17	卓球	57	男	北陵				
		58		敬徳				
		59	女	佐賀商業				
		60		敬徳				
18	相撲	61	男	多久				
19	柔道	62	男	佐賀商業				
		63		佐賀工業				
		64	女	佐賀商業				
		65		小城				
20	ソフトボール	66	男	牛津				
		67	女	佐賀女子				
		68		鹿島				
21	フェンシング	69	男	佐賀商業				
		70	女					
22	バドミントン	71	男	唐津南				
		72	女	佐賀女子				
23	ライフル射撃	73	男	佐賀学園				
		74	女	佐賀学園				
24	剣道	75	男	龍谷	11	男	北茂安	
		76		敬徳	12		江北	
		77	女	三養基	13	女	三瀬	
		78		佐賀学園	14		神埼	
25	ラグビーフットボール	79	男	佐賀工業				
		80	女					
26	スポーツライミング	81	男	多久				
		82		佐賀工業				
		83	女	多久				
27	空手道	84	男	佐賀東				
		85		龍谷				
		86	女	佐賀北				
		87		龍谷				
28	アーチェリー	88	男	高志館				
		89	女	高志館				
29	カヌー	90	男	神埼				
		91		鳥栖工業				
		92	女	鳥栖工業				
		93		伊万里農林・伊万里実業				
30	なぎなた	94	女	佐賀東				
		95		牛津				

【 学校別:高等学校 】

NO	校名	指定校			
		NO	性別	競技	種目
1	佐賀東	1	男	水泳	水球
		2	女		
		3	男	サッカー	
		4	男	バスケットボール	
		5	男	空手道	
		6	女	なぎなた	
2	佐賀北	7	女	陸上	
		8	女	体操	新体操
		9	男	バスケットボール	
		10	女		
		11	女	空手道	
3	致遠館	12	女	水泳	飛込
4	唐津東	13	男	ボート	
		14	女		
5	唐津西	15	男	ボート	
		16	女		
		17	男	セーリング*	
		18	女		
6	鳥栖	19	女	体操	競技
7	鹿島	20	男	レスリング*	
		21	女	ソフトボール	
8	神埼	22	女	サッカー	
		23	男	カヌー	
9	三養基	24	女	剣道	
10	小城	25	女	柔道	
11	白石	26	男	ボクシング*	
		27	女	ボクシング*	
12	唐津南	28	男	バドミントン	
13	伊万里農林	29	女	カヌー(伊万里実業と合同)	
14	高志館	30	男	ボクシング*	
		31	女		
		32	男	アーチェリー	
		33	女		
15	佐賀工業	34	男	陸上	
		35	男	ソフトテニス	
		36	男	柔道	
		37	男	ラグビーフットボール	
		38	女		
		39	男	スポーツライミング*	
16	唐津工業	40	男	セーリング*	
17	鳥栖工業	41	男	陸上	
		42	男	体操	競技
		43	男	レスリング*	
		44	男	カヌー	
		45	女	カヌー	

【 学校別:高等学校 】

NO	校名	指定校				
		NO	性別	競技	種目	
18	有田工業	46	男	ウエイトリフティング		
		47	女			
19	佐賀商業	48	男	水泳	競泳	
		49	女			
		50	女	テニス		
		51	男	バレーボール		
		52	女	卓球		
		53	男	柔道		
		54	女			
		55	男	フェンシング		
56	女					
20	鳥栖商業	57	女	テニス		
		58	女	バレーボール		
21	伊万里商業	59	男	ホッケー(伊万里実業と合同)		
		60	女			
22	牛津	61	男	ソフトボール		
		62	女	なぎなた		
23	神埼清明	63	男	体操	新体操	
		64	男	ハンドボール		
		65	女			
24	多久	66	男	相撲		
		67	男	スポーツクライミング		
		68	女			
25	嬉野	69	男	ソフトテニス		
		70	女	ソフトテニス		
26	龍谷	71	男	自転車		
		72	男	剣道		
		73	男	空手道		
		74	女	空手道		
27	佐賀清和	75	女	陸上		
		76	女	バレーボール		
		77	女	バスケットボール		
		78	男	ハンドボール		
		79	女			
		80	女	ソフトテニス		
28	佐賀女子	81	女	体操	新体操	
		82	女	ソフトボール		
		83	女	バドミントン		
29	佐賀学園	84	男	水泳	競泳	
		85	女			
		86	男	バレーボール		
		87	男	ライフル射撃		
		88	女	ライフル射撃		
		89	女	剣道		
30	北陵	90	男	卓球		
31	敬徳	91	男	テニス		
		92	男	卓球		
		93	女			
		94	男	剣道		
32	早稲田佐賀	95	男	テニス		

【 学校別:中学校 】

NO	校名	指定校			
		NO	性別	競技	種目
1	東原摩舎中央校	1	男	ハンドボール	
		2	女	ハンドボール	
2	成章	3	男	バスケットボール	
3	昭栄	4	女	バスケットボール	
4	城西	5	女	バスケットボール	
5	三瀬	6	女	剣道	
6	鳥栖	7	男	体操	(競技)
		8	女	体操	(競技)
7	田代	9	女	体操	(競技)
8	神埼	10	男	ハンドボール	
		11	女	ハンドボール	
		12	女	剣道	
9	北茂安	13	男	剣道	
10	江北	14	男	剣道	

令和2年度 佐賀県強化拠点地域

NO	競技(種目)名	クラブ名	性別	活動地域
1	水泳(飛込)	佐賀ダイビングクラブ	男・女	佐賀市
2	水泳(水球)	佐賀水球クラブ 葉隠Rex	男	佐賀市
3	サッカー	サガン鳥栖 U-15	男	鳥栖市
4		FCアレグリカミーニョ U-15	女	佐賀市
5	ホッケー	伊万里ホッケークラブ	男・女	伊万里市
6	ボクシング	吉永ボクシングジム	男・女	佐賀市
7	バレーボール	唐津ビーチバレークラブ	男・女	唐津市
8	体操(新体操)	神埼ジュニア新体操クラブ	男	神埼市
9	体操(新体操)	かささぎRG	女	佐賀市
10	レスリング	鳥栖レスリングクラブ	男・女	鳥栖市
11		鹿島レスリングクラブ	男・女	鹿島市
12	ウエイトリフティング	佐賀ウエイトリフティングクラブ	男・女	佐賀市
13	自転車	佐賀県競輪選手愛好会	男・女	武雄市
14	相撲	北方相撲クラブ	男	武雄市
15	馬術	チームひがしせふり	男・女	吉野ヶ里町
16	フェンシング	佐賀ジュニアフェンシングクラブ	男・女	佐賀市
17	バドミントン	佐賀サンライズバドミントンクラブ	男・女	佐賀市
18		BSM	男・女	唐津市
19	ラグビーフットボール	佐賀ウイメンズラグビーフットボールクラブ	女	佐賀市
20	スポーツクライミング	佐賀ユースクライミングクラブ	男・女	多久市
21	銃剣道	大河塾	男	大町町
22	アーチェリー	佐賀ジュニアアーチェリークラブ	男・女	佐賀市
23		唐津ジュニアアーチェリークラブ	男・女	唐津市
24	カヌー	神埼ジュニアカヌークラブ	男・女	神埼市
25	ボウリング	佐賀ジュニアボウリングクラブ	男・女	佐賀市
26	なぎなた	嬉野なぎなたクラブ	女	嬉野市
27		佐賀東ジュニアなぎなたクラブ	女	佐賀市

令和2年度佐賀県強化企業チーム

NO	競技(種目)名	企業チーム名	企業名
1	バレーボール(女子)	久光製薬スプリングス	SAGA久光スプリングス株式会社
2	ハンドボール(男子)	トヨタ紡織九州レッドトルネード	トヨタ紡織九州株式会社
3	ソフトボール(男子)	ダイワアクト	大和産業株式会社
4	バスケットボール(女子)	医療法人ひらまつ病院	医療法人ひらまつ病院 (系列企業含む)
5	軟式野球(男子)	医療法人ひらまつ病院	
6	ソフトボール(女子)	ひらまつ病院SAGA ALL STARS	
7	相撲(男子)	医療法人ひらまつ病院	

令和2年度「スポーツエリートアカデミーSAGA(SEAS)」支援対象選手及び佐賀国スポ強化指定選手・ネクスト選手認定証の交付について

- ※ 令和2年度の認定証交付式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止いたしました。今年度指定した選手については、事務局より各競技団体を訪問・激励し、認定証と認定Tシャツ等を配布させていただきます。

1 趣 旨

佐賀ゆかりのトップアスリートの育成を通じて、「する、育てる、観る、支える」といったスポーツ文化の裾野が拡大し、それがさらなる次世代アスリートの育成につながり好循環を創る「SSP(SAGAスポーツピラミッド)構想」の実現のため、全国そして世界で活躍する可能性のある選手を「スポーツエリートアカデミーSAGA(SEAS)」の支援対象選手とする。その中でも特に、第78回国民スポーツ大会に向けて主力となり得る選手については「佐賀国スポ強化指定選手」、第79回以降の国民スポーツ大会において主力となり得る選手については「ネクスト選手」として認定し、「オール佐賀」としての意識の高揚を図る。

2 対象者

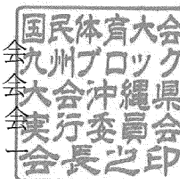
各競技団体より推薦があった選手で、佐賀国スポ(隔年競技を含む)に佐賀県代表として出場する可能性がある者(826名)及び佐賀国スポ以降の佐賀県代表として出場する可能性がある者(168名)。

- ※ 指定期間は、令和2年7月(5期交付日)から、令和3年の6期交付日前日までとする。

九 沖 実 第 24 号
令和 2 年 5 月 28 日

九州各県体育・スポーツ協会会長 様

令和 2 年度国民体育大会
第 4 0 回九州ブロック大会
沖 縄 県 実 行 委 員 会
会 長 玉 城 デ ニ



令和 2 年度国民体育大会第 4 0 回九州ブロック大会 夏季・秋季大会「開催中止」について（通知）

貴殿におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、本県の体育・スポーツの振興に多大なご支援・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、みだしのことについて沖縄県実行委員会の協議結果を踏まえ、令和 2 年度九州地区体育・スポーツ協会連絡協議会臨時幹事会において協議の結果、下記の理由から「開催中止」が決定しましたので通知致します。

これまで、受け入れ準備にご尽力いただきました関係者の皆様には、深く感謝するとともに、引き続き多大なるご理解とご協力をいただきますようお願い致します。

記

【中止の理由】

- 1 九州各県の新型コロナウイルス感染状況や他の大会開催状況を踏まえ、医療体制や防疫的観点の立場から選手・監督・関係者の命・安全を最優先に考えた感染防止が重要である。
- 2 新型コロナウイルス感染症が国民の生活、経済に甚大な影響を及ぼすとともに、現段階では同感染症拡大について終息のみとおし不透明である。
- 3 九州各県から選手・監督・関係者の移動・宿泊に伴う感染拡大のリスクが高いことから、医療体制の確保が確約できない。
- 4 新型コロナウイルス感染症は、今後第 2 波、第 3 波の感染流行が予想されており、長期的な対策が必要である。

【お問い合わせ先】

〒900-0026 沖縄県那覇市奥武山町 51-2
公益財団法人沖縄県体協スポーツ会館内
令和 2 年度国民体育大会第 4 0 回九州ブロック大会
沖縄県実行委員会 担当 谷畑・仲宗根
TEL/098-857-7511 FAX/098-851-7575
E-mail : nksoneto@pref.okinawa.lg.jp

第 75 回国民体育大会及び第 20 回全国障害者スポーツ大会の
開催に係る記者会見

次 第

- 1 日 時：令和 2 年 6 月 1 9 日（金） 1 7 時 0 0 分～（予定）
- 2 場 所：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE14 階 岸清一メモリアルルーム
- 3 内 容
 - （1） 鹿児島国体及び鹿児島大会について
公益財団法人日本スポーツ協会 伊藤 雅俊 会長
 - （2） 主催団体代表者のコメント
 - ①スポーツ庁 鈴木 大地 長官
 - ②公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 鳥原 光憲 会長
 - ③鹿児島県 三反園 訓 知事
 - （3） 質疑応答
- 4 配布資料
 - 資料 1 合意文書
 - 資料 2 鹿児島国体・鹿児島大会を今年の秋に開催しない理由

令和 2 年 6 月 19 日
公益財団法人日本スポーツ協会
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
文部科学省・スポーツ庁
鹿児島県

第 75 回国民体育大会並びに第 20 回全国障害者スポーツ大会の
取扱いについて

第 75 回国民体育大会（以下「鹿児島国体」という。）並びに第 20 回全国障害者スポーツ大会（以下「鹿児島大会」という。）の取扱いについては、以下のとおりとする。

1. 鹿児島国体及び鹿児島大会は、今年秋には開催しない。
2. 鹿児島国体及び鹿児島大会は延期することとし、具体的な開催時期については、可能な限り早期の結論を得るべく、引き続き、調整・検討を継続する。

鹿児島国体・鹿児島大会を今年の秋に開催しない理由

- 鹿児島国体・鹿児島大会は、選手・監督だけで約3万人、観客を含めると延約80万人の来場を見込む全国的な大規模イベントであり、ワクチンの開発や治療方法が十分ではない状況の中、第2波・第3波の懸念や県内の医療体制等を踏まえると、大勢の人の移動に伴う感染拡大リスクが払拭されていないため、来県者や県民の安全確保を考えると、今年秋の開催は困難との判断があること。
- 4月時点で、鹿児島国体の都道府県予選会の約6割以上が延期や中止の検討をしており、その後、東北ブロック大会と九州ブロック大会を中止とするなど、通常通りの予選会やブロック大会の開催が困難であること。
- 4月時点で、鹿児島大会の都道府県予選会の約7割、ブロック大会の9割以上が延期や中止の検討をしており、通常通りの予選会やブロック大会の開催が困難であること。
- 鹿児島国体選手団を派遣する都道府県体育・スポーツ協会から、都道府県予選会やブロック大会が開催されなければ、公平・公正な選手選考が困難であるとの意見が多数寄せられていること。
- 鹿児島大会選手団を派遣する都道府県・指定都市からは、選手選考を行っても選手自身から参加を辞退される可能性や感染症対策が十分に講じられ、安全・安心が確保されることが必要であるとの意見が多数寄せられていること。
- 緊急事態宣言下（5月25日全面解除）で選手の練習環境が著しく制限されていたことから、選手が準備不足で都道府県予選会やブロック大会に臨むことによる外傷・障害のリスクが大きいこと。
- 専門家（医師）からは、大勢の人が移動すること自体が感染拡大のリスクになり、約1年程度は、予選会・ブロック大会もある国体のような大規模スポーツイベントは、開催は困難である旨の助言。
- 鹿児島国体・鹿児島大会の開催により、国内において新型コロナウイルス感染症の拡大を誘引してはならないということ。

燃か実第 1 号
令和 2 年 4 月 1 日

九州ブロック各県・指定都市
障害者スポーツ主管課長 殿
障害者スポーツ協会会長 殿

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会
実行委員会事務局長



第 20 回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」リハーサル大会
の中止について（通知）

第 20 回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催につきまして、格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

標記のリハーサル大会については、令和 2 年 3 月 10 日付け燃か実第 645 号で、団体競技組合せの決定の通知をさせていただいたところです。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の国内での収束見通しが立たないこと、本県でも感染症患者が確認されたこと、感染リスクへの対応が整わないことなどから、参加者の安心・安全を第一に考え、リハーサル大会の主催者で協議の結果、リハーサル大会の全ての競技を中止することとなりました。

つきましては、年度当初の御多忙の折、誠に恐縮ですが、各参加チームへの周知をお願いいたします。

なお、10 月に開催予定のかごしま大会本大会については、予定どおりの開催に向け、準備を進めており、本大会出場チーム選考については、今後、関係団体等と協議を行ってまいりますので、御理解・御協力をお願いします。

【問合せ先】

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会事務局
(鹿児島国体・全国障害者スポーツ大会局内)
全国障害者スポーツ大会課 大会競技班 担当：宮下
TEL：099-286-2903 FAX：099-286-5553
E-mail：syousupo-kyougi@pref.kagoshima.lg.jp

日障ス発第 64 号
令和 2 年 6 月 19 日

都道府県指定都市障がい者スポーツ主管課 御中
都道府県指定都市障がい者スポーツ協会 御中
全国障害者スポーツ大会関係競技団体 御中

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
会長 鳥原 光 憲



新型コロナウイルス感染拡大に伴う第 20 回全国障害者スポーツ大会
(鹿児島県) の開催見送りについて (通知)

平素より、障がい者スポーツの振興につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また、標記大会（以下「鹿児島大会」という。）の開催に向けて、開催県はもとより各県市はじめ関係者の皆様方には諸準備等多大なご尽力をいただいておりますことを重ねて御礼申し上げます。

さて、当協会では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、鹿児島県における国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会の開催可否等について、これまでスポーツ庁、鹿児島県、日本スポーツ協会との 4 者間で協議を重ねて参りました。

そのような中、政府の緊急事態宣言は解除されたものの、依然、感染症拡大予防の対策・対応が求められており、両大会の開催にあたっては、選手を含むすべての大会関係者にとっての安全、安心な大会開催の確保が難しいことや、大会を開催することにより多くの人々が全国から鹿児島県へ移動し、新たな感染拡大・クラスターになる恐れがあること等から、今秋の鹿児島大会については開催しないこととなりました。

鹿児島県をはじめ、選手、関係者の皆様が大会の成功のために、長年にわたり努力、準備をされてきたことや全国障害者スポーツ大会が障がい者スポーツの振興において極めて重要な大会であること等を踏まえ、大会の延期について、引き続き、後催県等のご意見を伺いながら、調整、検討することとなりました。

つきましては、皆様には今秋の鹿児島大会に向けて、選手選考等の派遣に伴うご準備にひとかたならぬご尽力をいただいているところ、この状況下における判断となり、誠に迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、鹿児島大会の延期策について結論が出ましたら、追ってご連絡させていただきますので、引き続きよろしくお願いいたします。

【お問合せ先】

日本障がい者スポーツ協会 スポーツ推進部
TEL : 03-5695-5420 FAX : 03-5641-1213

新型コロナウイルス感染症の影響
下における国民体育大会、全国障
害者スポーツ大会の開催に向けた
開催県共同要望書

令和2（2020）年6月11日

三重県、栃木県、佐賀県、滋賀県

日頃から、地域スポーツ及び障がい者スポーツの推進、とりわけ国民体育大会（国民スポーツ大会）、全国障害者スポーツ大会の開催に向けて、ご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が世界的な拡がりをみせる中、各県においても感染予防やまん延防止をはじめ、県民等の不安解消、県民生活や県内経済への影響の最小化を図るため、国、市町、関係機関等と連携し、厳しい財政状況の中でも感染防止対策や経済対策などに積極的に取り組んでいるところです。

さて、三重県をはじめとする国民体育大会（国民スポーツ大会）、全国障害者スポーツ大会の開催予定県においては、決定された会期に向け、県では開閉会式・競技会場の整備や式典準備などに、また、市町は競技の会場整備や運営準備、競技団体は役員養成や選手強化、県民・企業の皆さんはボランティア活動や募金・協賛など、多くの関係者の多大なご負担やご協力をいただき、県民一丸となって着実に準備を進めてまいりました。

また、競技力向上の観点でも、国体の天皇杯・皇后杯の獲得のため、開催年に照準を絞って、多くの選手に、競技人生を懸けて強化活動に取り組んでいただいているところです。

さらに、これから 2022 年、2023 年にかけては、70 年以上の長きにわたる歴史を重ねた「国民体育大会」が「国民スポーツ大会」に変わる大きな節目を迎えることから、冬季大会とともにその有終の美を飾り人々の心に刻まれる「最後の国体」となる栃木県、これから先 100 年の希望となる新しいスポーツ文化の始まりにふさわしい「最初の国スポ」となる佐賀県の両県においては、大会の開催に特別な思いをもって準備を進めているところです。

こうした中、鹿児島県が両大会の 1 年程度の延期を関係機関に要望しており、関係機関が代替案の本格検討に入るとの報道がありました。

今秋の両大会の開催が困難となっていることは、誰の責任でもなく、これまで両大会を目指して練習に励んできた選手や、長年にわたって開催準備を進めてきた鹿児島県の皆さんの気持ちを考えると心が痛みます。

一方で、後催県にあっては、予定された会期どおりに開催されない可能性もあることから対応に苦慮しており、県民も不安と戸惑いを持って受け止めております。

この事態を打開するためには、関係機関において、今年度の両大会の開催県だけでなく、後催県の意見も聴取したうえで、必要な検討がなされるべきであると考えており、日本全体で見ると影響が少なくなるよう、結論を導き出していきたいと考えております。

つきましては、次の事項について要望しますので、特段のご配慮をお願いいたします。

【要望事項】

国民体育大会開催基準要項及び全国障害者スポーツ大会開催基準要綱において、開催の可否決定では中止のみが規定されているところです。

そのうえで、

- 1 第75回国民体育大会及び第20回全国障害者スポーツ大会の開催が困難との判断がなされ、代替案を検討するというのであれば、まずは、後催県に影響のない範囲での対応策を最優先で検討すること。
- 2 仮に、延期が必要となった場合であっても、様々な延期の選択肢が考えられることから、後催県に最も影響が少なくなるような対応策を導き出すこと。その際には、これまでの各県の経緯などを尊重し、後催県の意見も聴取すること。
- 3 万が一、1年延期など後催県に大きな影響を与えるような対応を行う場合、後催県は県民に説明責任が生じることからその理由と、開催年をターゲットに競技人生を懸けて準備を進めてきた選手への対応策や、市町、競技団体、企業、ボランティアなど一緒に準備を進めている多くの皆さんが納得できる支援策を示すこと。

令和2年6月11日

三重県知事 鈴木 英 敬

栃木県知事 福 田 富 一

佐賀県知事 山 口 祥 義

滋賀県知事 三 日 月 大 造

審議事項

- 第1号議案 令和元年度事業報告（案）・・・・・・・・・・ P 26 ～ 31
- 第2号議案 令和元年度収支決算（案）及び監査報告について・ P 32 ～ 33
- 第3号議案 令和2年度補正収支予算（案）について・・・・・・・・・・ P 34

令和元年度事業報告(案)

1. 会議の開催と審議・協議の内容

会議名	主な審議、協議内容	開催期日 主催団体
第9回本部会議	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告(案)について 平成30年度収支決算(案)について 令和元年度補正収支予算(案)について 	7月4日 推進本部
第9回佐賀県強化拠点校等 設置検討専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> 佐賀県強化拠点校支援事業における拠点校の今後の考え方について 令和2年度佐賀県強化拠点校及び拠点地域の選定に係る希望調査の実施について 	8月22日 推進本部
第12回国スポ選手強化対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度事業計画(案)について 	10月30日 推進本部
第9回障害者スポーツ普及委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度事業計画(案)について 	11月14日 推進本部
第10回佐賀県強化拠点校等 設置検討専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度佐賀県強化拠点校(素案)について 令和2年度佐賀県強化拠点地域(素案)について 	1月29日 推進本部
第10回障害者スポーツ普及委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 	1月29日 推進本部
第13回国スポ選手強化対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度佐賀県強化拠点校の設置(案)について 令和2年度佐賀県強化拠点地域の設置(案)について 令和2年度事業計画(案)について 	2月10日 推進本部
第10回本部会議	<ul style="list-style-type: none"> 役員及び委員の変更について(報告) 専決事項について(報告) 佐賀県競技力向上推進本部会議等の開催状況(報告) 第12回及び第13回国スポ選手強化対策委員会(報告) 第9回及び第10回障害者スポーツ普及委員会(報告) 第74回国民体育大会結果・第19回全国障害者スポーツ大会について(報告) 第78回国民スポーツ大会・第23回全国障害者スポーツ大会 愛称・メッセージについて(報告) 令和2年度佐賀県強化拠点校の設置(案)について(審議) 令和2年度佐賀県強化拠点地域の設置(案)について(審議) 令和2年度事業計画(案)について(審議) 令和2年度収支予算(案)について(審議) 	3月19日 推進本部

2 国民スポーツ大会

(1) 選手強化事業

事業名	具体的取組	実施時期 主催団体
選手育成事業	各競技団体が、国体をはじめとする最高峰の大会において入賞者を輩出するために、実施する県内強化練習会等に要する経費に対し、補助を行った。	4月～3月 推進本部
運動部活動等設立支援事業	運動部活動等を設立することで練習環境を整備し、4年後の佐賀国スポの選手確保や育成、強化につなげるため、運動部活動等の設置数が少ない競技を対象に、その設立等に要する経費を支援した。 R1 新設なし、既設立の活動支援のみ	4月～3月 推進本部
選手支援事業	県外出身選手及び県内の有望選手の内、高校生40名、中学生10名に奨学金の交付を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・唐津西高校 2名(セーリング) ・神埼清明高校 3名(新体操) ・厳木高校 1名(アーチェリー) ・敬徳高校 1名(剣道) ・佐賀北高校 1名(陸上) ・佐賀工業高校 14名(柔道・ラグビー) ・佐賀商業高校 4名(柔道) ・佐賀女子高校 4名(ソフトボール) ・佐賀清和高校 1名(陸上) ・多久高校 2名(スポーツクライミング) ・鳥栖工業高校 3名(陸上・レスリング) ・鳥栖高校 1名(体操) ・三養基高校 2名(剣道) ・龍谷高校 1名(剣道) ・武雄青陵中学校 1名(水泳) ・田代中学校 3名(体操・ボクシング) ・鳥栖中学校 5名(レスリング) ・三瀬中学校 1名(剣道) 	4月～3月 スポーツ協会
SEAS支援対象選手及び強化指定選手・ネクスト選手認定事業	全国レベルや世界レベルで活躍する可能性のある選手をSEASの支援対象選手とし、かつ主力となり得る選手については強化指定選手として認定し、「オール佐賀」としての意識の高揚を図るため、競技団体から推薦された選手に対する「強化指定選手・ネクスト選手認定証交付式」を実施した。 (認定選手 851名)	6月9日 推進本部
ターゲットエイジ選手発掘事業	県内の中学校や大型商業施設において体験教室等を開催し、子供たちにスポーツに触れる機会を提供し、佐賀国スポ開催年に少年種別の選手となる年代(ターゲットエイジ)選手発掘を行った。 実施競技 <ul style="list-style-type: none"> ・ボート競技(海青中学校) ・アーチェリー競技(相知中学校) ・フェンシング競技(モラージュ佐賀) 	11月～1月 推進本部

トライアウト開催事業	<p>自分のスポーツ能力の特性を知り、より良い競技選択へつなげることや、実技体験を通して自分に適するスポーツと出会うきっかけを作るため、小学校3年生から中学3年生を対象とし、競技・種目転向型トライアウト及びスポーツ能力測定会を実施した。</p> <p>第1ステージ参加者： 319名 第2ステージ参加者： のべ34名 種目転向者数： 0名</p> <p>実施競技：トライアスロン、ホッケー、ボクシング ウェイトリフティング、自転車、ソフトテニス、 ライフル射撃、ラグビーフットボール、銃剣道 空手道、なぎなた</p>	9月～12月 推進本部
強化拠点校活動支援事業	<p>中学校・高等学校で、佐賀国スポを見据え強化の主軸となる学校を指定し、強化活動に対する支援事業を行った。</p> <p>高等学校：指定校 33校 98運動部(31競技) 高等学校：推進校 23校 39運動部(13競技) 中学校：指定校 24校 41運動部(12競技)</p>	4月～3月 推進本部
強化拠点地域活動支援事業	<p>一定の地域を拠点に活動がなされ、佐賀国スポを見据え強化の主軸となる地域(クラブチーム)を指定し、強化活動に対する支援事業を行った。</p> <p>拠点地域： 24地域</p>	4月～3月 推進本部
強化企業チーム活動支援事業	<p>国体・国スポの正式競技に取り組んでいる企業チームのうち主体的に活動する企業チームを指定し、強化活動に対する支援事業を行った。</p> <p>企業チーム： 7企業チーム</p>	4月～3月 推進本部
佐賀県中学校体育連盟支援事業	<p>地区中体連及び県中体連専門部による強化練習会等を実施し、有望選手を発掘・育成するため、また、佐賀国スポの候補選手として競技力向上を図るための支援事業を行った。</p>	4月～3月 推進本部

(2) 指導者養成事業

事業名	具体的取組	実施時期 主催団体
指導者招聘事業	<p>指導者の資質向上を図るため、国内外の優れた指導者を招聘し、一定期間または複数回にわたり、指導者が直接アドバイスを受ける研修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施競技 30競技 ・実施回数 延べ104回 ・招聘者数 58名 ・主な招聘者 <p>〔バレーボール〕 大久保 茂和 (久光製薬スプリングスコーチ)</p> <p>〔相撲〕 舛田 守 (拓殖大学相撲部監督 全国学生相撲選手権等入賞者多数輩出)</p> <p>〔銃剣道〕 佐藤 亨 (福島県銃剣道連盟 全日本選手権優勝)</p> <p>〔ボウリング〕 山下 知且 (全日本ナショナルチーム選手強化委員)</p>	4月～3月 スポーツ協会

指導者研修事業	<p>県内の指導者を、(公財)日本スポーツ協会・中央競技団体等が実施する研修会や、国内外の優れた指導者の下に派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別研修 8競技延べ29名 ・主な研修先 <ul style="list-style-type: none"> 〔サッカー〕 國學院大學久我山高等学校サッカー部 〔レスリング〕 全日本選抜選手権大会 〔スポーツクライミング〕 ボルダリングユース選手権 等 ・研修会参加 5競技10名 ・主な研修先 <ul style="list-style-type: none"> 〔剣道〕 社会体育指導員剣道養成講習会 〔体操競技(新体操)〕 公認指導者コーチ養成講習会 等 ・本国体帯同 26競技37名 	4月～3月 スポーツ協会
スポーツアドバイザー配置事業	<p>指導者の養成及び資質の向上を図るとともに、指導体制を充実させるため、スポーツアドバイザーを配置した。</p> <p>剣道競技</p>	4月～3月 推進本部

(3)トレーナー等養成事業

事業名	具体的取組	実施時期 主催団体
スタッフ育成事業	<p>スポーツトレーナー等が、(公財)日本スポーツ協会等が実施する専門の研修会や個別研修に参加する経費に対して補助を行った。</p> <p>また、アスリートのパフォーマンス向上に必要なスポーツトレーナーを本国体チームに帯同させ、実地研修を通してのスキルアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣回数(述べ) 10回 7名 ・主な派遣先 <ul style="list-style-type: none"> 〔トレーナー〕 ・(公財)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会等 ・本国体帯同(16競技25名) 	4月～3月 スポーツ協会

(4)環境整備事業

競技力向上の取り組み	具体的取組	実施時期 主催団体
競技用具等購入事業	<p>〔整備用具〕</p> <p>陸上競技：フレキハードル・タイム測定装置 購入 ボート競技：舵手付きクウォドルプル、ダブルスカル 購入 空手道競技：デジタルタイマー 購入 水泳競技：水球ゴール 購入 カヌー競技：スプリントカヤックフォア、スプリントカナディアンペア 購入 自転車競技：競技用自転車 購入</p>	4月～3月 推進本部

3 全国障害者スポーツ大会

(1) 選手育成事業

事業名	具体的取組	実施時期 主催団体
団体競技選手 発掘・育成事業	未普及競技の体験教室等を開催し、競技の普及や選手の発掘等を行い、チーム結成につなげるとともに、競技力の向上を図った。 【実績】 体験教室：5競技を4地区で計17回実施。延べ240名参加。 強化練習会：知的バレー、ソフトボール、バスケットボール、フットベースボールの強化練習を計9回実施。延べ108名参加。	4月～3月 推進本部
個人競技選手 発掘・育成事業	個人競技の体験教室等を開催し、競技の普及や選手の発掘等を行い、個人競技で多くのメダル獲得を目指すとともに、競技力の向上を図った。 【実績】 体験教室：4競技を3地区で計7回実施。延べ52名参加。	4月～3月 推進本部
団体・個人競技チーム活動支援事業 (旧：団体競技チーム活動支援事業)	団体競技チーム、個人競技クラブへの活動費の支援を行い、競技力の向上を図った。 【実績】 団体競技6チーム、個人競技3クラブに対し、各種大会参加や県内強化練習会等の活動費を補助。 (団体) ・グランドソフトボール ・車いすバスケットボール ・精神バレー ・知的サッカー ・知的バレー ・ソフトボール (個人) ・障がい者卓球 ・障がい者水泳 ・パラ陸上	4月～3月 推進本部
団体競技チーム競技力向上事業	団体競技の競技力向上を図るため、団体競技(車いすバスケットボール)の大会を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となった。	4月～2月 推進本部
育成指定選手の認定事業	令和5年佐賀大会に出場が見込まれる選手を育成指定選手として認定した。 【実績】 団体競技5競技63名、個人競技5競技20名、計83名を育成指定選手として認定し認定証・認定Tシャツを交付。	9月 推進本部
広報活動事業	大会の認知度向上を図るとともに、選手発掘へとつなげるため、選手募集の広告物を作成し、特別支援学校等に配布した。	6月～3月 推進本部

(2) 指導者養成事業

指導者養成事業	初級障がい者スポーツ指導員を育成するため、資格講習会の受講料補助を行った。 団体競技の指導者を全国大会へ派遣し、指導力向上を図る予定であったが、台風の影響により全国大会が中止となったため、派遣なし。 【実績】 令和元年度初級障がい者スポーツ指導員養成講習会受講者19名に受講料を補助。	4月～3月 推進本部
---------	---	---------------

(3) 環境整備事業

<p>団体競技普及事業 (旧: チーム立上げ支援事業)</p>	<p>特別支援学校等で団体競技の未普及競技に取り組んでもらうため、競技用具購入の補助を行った。</p> <p>【実績】 特別支援学校7校に用具購入を補助。 〔中原特別支援学校〕 ・フットサルゴール、ゴールネット 〔盲学校〕 ・防球フェンス、コートブラシ、ボール、石灰 〔伊万里特別支援学校〕 ・バスケットボールリングネット、ボール、電子ホイッスル等 〔唐津特別支援学校〕 ・ミニゴール、ボール、電子ホイッスル、ラインカー等 〔大和特別支援学校〕 ・バドミントン支柱、バドミントンネット、ボール 〔佐賀大学教育学部附属特別支援学校〕 ・ソフトボール用グラブ、ソフトボール用バット等 〔うれしの特別支援学校〕 ・ソフトボール用グローブ、捕手用マスク、ベース等</p>	<p>4月～3月 推進本部</p>
-------------------------------------	---	-----------------------

※全国障害者スポーツ大会における「トレーナー等養成」については、国民スポーツ大会の「トレーナー等養成事業」により効果が得られており、全国障害者スポーツ大会には掲載していない。

第2号議案

令和元年度収支決算(案)

1 収入

(単位:円)

科目	議決予算額(A)	収入済額(B)	比較(C=B-A)	内容
負担金	326,937,000	326,937,000	0	佐賀県負担金
繰越金	10,773,000	10,773,173	173	H30繰越金
雑収入	2,000	1,340	△ 660	利息収入等
計	337,712,000	337,711,513	△ 487	

2 支出

(単位:円)



大科目	小科目	事業名	議決予算額(A)	支出済額(B)	比較(C=A-B)			
国民体育大会	事業費		331,306,000	305,249,798	26,056,202			
			325,850,000	300,269,626	25,580,374			
		選手強化	選手育成事業	170,002,000	162,557,922	7,444,078		
			運動部活動等設立支援事業	1,800,000	1,685,580	114,420		
			選手支援事業	18,000,000	18,000,000	0		
			強化指定選手認定事業	4,889,000	4,888,032	968		
			ターゲットエイジ選手発掘事業	900,000	490,997	409,003		
			トライアウト開催事業	3,060,000	3,059,108	892		
			強化拠点校支援事業	43,360,000	40,147,361	3,212,639		
			強化拠点地域支援事業	11,475,000	10,187,000	1,288,000		
			強化企業チーム支援事業	4,500,000	4,225,000	275,000		
			佐賀県中学校体育連盟支援事業	11,000,000	8,913,161	2,086,839		
		指導者養成	指導者招聘事業	20,835,000	16,334,181	4,500,819		
			指導者研修事業	10,503,000	8,691,622	1,811,378		
			スポーツアドバイザー配置事業	3,534,000	3,517,888	16,112		
		養子(ト)成等	スタッフ育成事業	4,212,000	4,099,305	112,695		
		整備環境	競技用具等購入事業	17,780,000	13,472,469	4,307,531		
		事務局費		5,456,000	4,980,172	475,828		
		全国障害者スポーツ大会	事業費		6,406,000	4,198,452	2,207,548	
					5,844,000	4,041,288	1,802,712	
				選手育成	団体競技選手発掘・育成事業	1,067,000	897,048	169,952
					個人競技選手発掘・育成事業	577,000	145,880	431,120
					団体・個人競技チーム活動支援事業	1,305,000	1,123,429	181,571
団体競技チーム競技力向上事業	1,167,000				353,115	813,885		
育成指定選手の認定事業	477,000				384,936	92,064		
広報活動事業	170,000				62,150	107,850		
指導者養成	指導者養成事業			56,000	55,750	250		
整備環境	団体競技普及事業			1,025,000	1,018,980	6,020		
事務局費				562,000	157,164	404,836		
計				337,712,000	309,448,250	28,263,750		

収入額合計	337,711,513
支出額合計	309,448,250
差引残額(次年度繰越額)	28,263,263

監 査 報 告

佐賀県競技力向上推進本部規約第18条の規定に基づき、令和元年度事業報告及び収支決算に関する会計書類について監査したところ、その内容が適正であったことを確認しました。

令和 2 年 6 月 5 日

監 事 大川内 明子  印
監 事 大田 芳洋  印

佐賀県競技力向上推進本部長 小林 万里子 様

令和2年度補正収支予算(案)

1 収入

(単位:千円)

科目	当初予算額	補正額	補正後予算額	備考
負担金	402,512	0	402,512	佐賀県負担金
繰越金	3,900	24,363	28,263	R1繰越金
雑収入	2	0	2	利息収入等
計	406,414	24,363	430,777	

2 支出

(単位:千円)

大科目	小科目	事業名	当初予算額	補正額	補正後予算額		
国民体育大会	事業費		400,250	22,156	422,406		
			395,306	21,680	416,986		
		選手強化	選手育成事業	231,454	0	231,454	
			運動部活動等設立支援事業	5,400	0	5,400	
			選手支援事業(奨学金)	22,680	0	22,680	
			強化指定選手認定事業	6,547	0	6,547	
			ターゲットエイジ選手発掘事業	1,050	0	1,050	
			トライアウト開催事業	3,535	0	3,535	
			強化拠点校支援事業	36,400	0	36,400	
			強化拠点地域支援事業	13,200	0	13,200	
			強化企業チーム支援事業	4,500	0	4,500	
			佐賀県中学校体育連盟支援事業	8,000	0	8,000	
		指導者養成	指導者招聘事業	24,298	0	24,298	
			指導者研修事業	12,444	0	12,444	
			スポーツアドバイザー配置事業	7,016	0	7,016	
選手育成等	スタッフ育成事業	2,422	0	2,422			
整備環境	競技用具等購入事業	16,360	21,680	38,040			
	事務局費		4,944	476	5,420		
全国障害者スポーツ大会	事業費		6,164	2,207	8,371		
			5,874	1,802	7,676		
		選手育成	団体競技選手発掘・育成事業	978	100	1,078	
			個人競技選手発掘・育成事業	718	511	1,229	
			団体・個人競技チーム活動支援事業	1,958	0	1,958	
			団体競技チーム競技力向上事業	868	641	1,509	
			育成指定選手の認定事業	729	250	979	
			広報活動事業	120	300	420	
			指導者養成	指導者養成事業	340	0	340
		整備環境	団体競技普及事業	163	0	163	
			事務局費		290	405	695
			計		406,414	24,363	430,777

